



イラスト古文単語 part ①



GAG マークはギャグ(状況で例えたもの)。

あくがる (憧る)

さまよい歩く
上の空になる

※あこがれの人を見ると、思わずぼーっとしたり、自分の心がその人に吸いよせられる感じ



しのぶ (忍ぶ)

ひそかに~する
我慢する

※忍者が石の上にも3年!



ながむ (眺む)

もの思いに沈む

※遠くをみるときってぼんやりと何か考えていることが多いのでは?



やすらふ (休らふ)

ためらう
とどまる

※あることをせずに、休んでどうしようか悩んでるイメージ。



あいなし

(「あいなく」の形で)
わけもなく/つまらない

※愛がなきゃ—それは、わけもないけど人生つまらない…



はしたなし (端なし)

中途半端だ
きまり悪い

※端っこがないとそりゃあ中途半端でズイ。



おぼつかなし (覚束なし)

はっきりしない
気がかりだ、不安だ

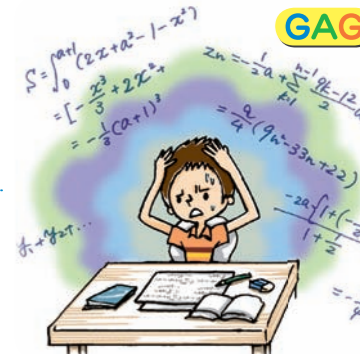
※→は酔っぱらいが足元がおぼつかない、つまりふらふらと不安定なイメージ。もとは覚えの束がないということ。



むつかし (難し)

不快だ
うっとうしい

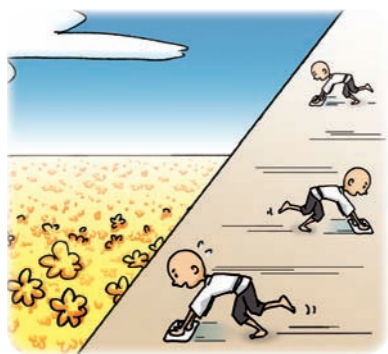
※難しい数学にあたる時の気持ち… (一部の数学好きをのぞく…)



わたる (渡る)

一面~する
ずっと~し続ける

※現代語でも「咲きわたる」とか。ただし「走りわたる」とか「一面走る」ではヘン。



くもる (雲居)

空・宮中

※空がいたるところ
→高い所
→宮中



めざまし (目覚まし)

すばらしい
気に入らない

※目が覚めてしまうくらい良いか悪いか。



ところせし

(所狭し)

窮屈だ

※まさに読んで字のごとく、空間的or心理的に満員電車のイメージ



まばゆし (眩し)

見ていられないほど
美しい/はずかしい

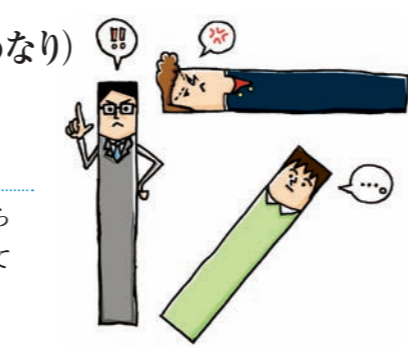
※相手がまぶしいくらい美しいのか、それによって自分がカッコ悪くみえるのかというちがいが。



なのめなり (斜めなり)

ふつうだ
いいかげんだ

※たて・よこにまっすぐならきまってるけど、斜めって今一つ…という感じ



なべて (並べて)

すべて/並

※ずらーっと並べてみて、並ということ。



つつまし (慎まし)

遠慮される

※当て字で本心を「包む」と考えるといいよ。



こころづきなし

(心付きなし)

気に入らない

※要は、自分の心にぴったりとくっつかないことを言う。



つれなし (連れなし)

平然としている
薄情だ

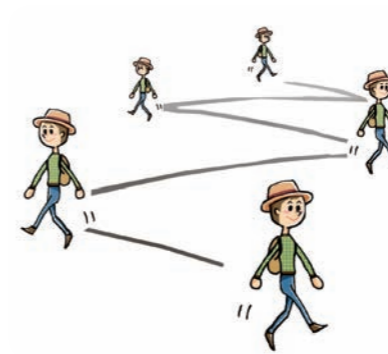
※周囲につられないということ。



ありく (歩く)

歩きまわる
動きまわる

※単に歩くのではなく、「あちこちいく」というのがポイント。乗り物自体の移動にも使う



あるじす (饗す)

ごちそうする
もてなす

※あるじ(host)の仕事は客(ゲスト)をもてなすこと。

